

科目	教育実習 I	担当	田中 信幸	履修学年	4年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位
<p>【授業目標・到達目標】 教育実習は、大学で学んだ教職や教科の専門知識を用いて、教育現場で実際に指導を行うものである。実習中には、授業を通して教科の内容を生徒に教えることや、目の前にいる生徒の反応を見て瞬時に判断して対応することを体験する。また、教科指導だけでなく、生活指導やキャリア教育等についても観察や指導の補助をして、社会の要請に応えられる教員としての能力と資質を磨くことを目標とする。</p> <p>【履修注意】 教職課程を履修している学生だけを対象とする。 大学における事前事後の指導、実習校における教育実習ともに、原則として欠席できない。</p> <p>【評価方法】 教育実習中の実習校における評価に、学内指導における学習指導案、模擬授業の内容、提出物、小テストの得点を加えて評価する。</p> <p>【試験について】 定期試験は実施しない。学内指導時には小テストを実施する。 再試験対象者の条件： 再試験は実施しない。</p> <p>【予習・復習】</p> <p>【教科書】 購入教科書なし</p> <p>【参考書】</p> <p>【その他の注意事項】</p> <p>【授業計画・内容】</p> <p>① 学内事前指導(9コマ) 集中講義「事前・事後指導」における事前指導の後に実施する。 各学校の年間学習指導計画における教育実習期間の位置づけについて理解する。 教科ごとに、学習指導案と板書計画・発問計画・補助教材を2時間分以上作成し、その指導案に基づく模擬授業を実施する。</p> <p>② 現地実習(実習校における教育実習) 教育実習期間： 高等学校1種普通免許状公民または情報の取得希望者は、原則として2週間 中学校1種と高等学校1種両方の普通免許状保健体育取得希望者は、原則として3週間</p> <p>高等学校1種普通免許状公民または情報の取得希望者は、各学校における教育実習期間のすべてを現地実習に充当する。 中学校1種と高等学校1種両方の普通免許状保健体育の取得希望者は、各学校における教育実習期間のうちの最初の2週間を現地実習に充当する。</p> <p>③ 学内事後指導(1コマ) 集中講義「事前・事後指導」における事後指導の後に実施する。 教科指導、ホームルーム指導に関する反省と今後の課題について、レポートを提出する。</p>					